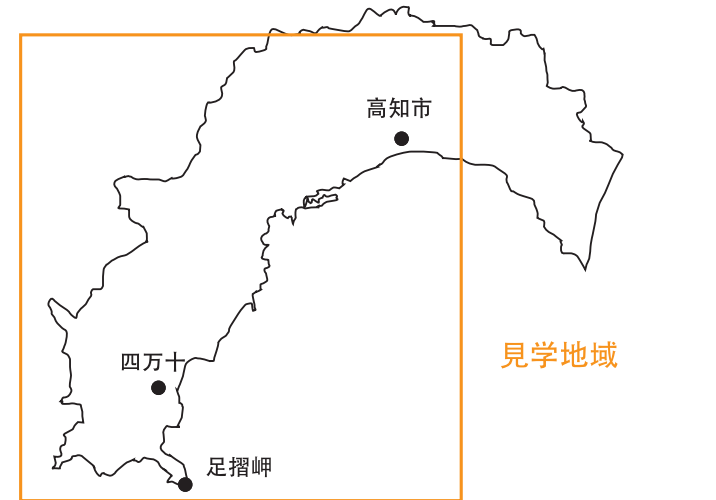


高知県地図



お 申 込 方 法

①申込書にもれなくご記入の上、富士国際旅行社あてに郵送またはfaxにてお送りください。
②別途送付の「国内旅行取引条件書」をご一読ください。条件確認後、申込金20,000円（旅行費用内金）又は旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へ振込みにてお支払いください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込み）
③旅行費用残金は出発3週間前迄にお支払いいただきます。
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などのご旅行資料を送付いたします。

郵便振替口座番号 00140-4-39332
加入者名 株式会社 富士国際旅行社

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業84号 JATA正会員

株式会社 富士国際旅行社

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
henshu@fits-tyo.com 担当: 山田・金光・小山

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理
営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00 (土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

株式会社 富士国際旅行社 宛 ●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書 四万十・足摺岬を堪能 ビキニデーin高知参加ツアー 2023年5月4日発

ふりがな		性別	年齢	ふりがな		性別	年齢
氏名		男 女	歳	同行 ご家族		男 女	歳
住所	(〒 ー)			電 話	() ー FAX【可・不可】		
	E-mailアドレス:			携 帯 番 号	() ー		
勤務先 あるいは 緊急 連絡先	連絡 先名 (続柄:)			部屋タイプ (旅行中)	1人部屋を希望【 する・しない 】追加¥20,000 2～3人部屋、同室希望の方: ー 様		
	住所			旅行社への 連絡事項			
	Tel: ()						

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2023年2月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。

<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日以降	旅行費用の40%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
- ①企画手配料・及び手配料金
 - ②交通費: 旅程に明示した航空機(エコノミークラス)
 - ③宿泊費: 下記ホテル
愛南町: 一本松温泉あけぼの荘 土佐清水市: ホテル足摺園高知市: ドーミーイン高知
 - ④食事代(朝3回 昼3回 タ2回)
 - ⑤視察費用: 手配料
 - ⑥手荷物運搬料: 一人1個、15Kgまでの手荷物運搬料金
 - ⑦見学費用: 旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料(自由時間は除く)
 - ⑧旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円)
 - ⑨航空特別保険、羽田空港施設使用料
 - ⑩添乗員同行の費用: 1名
 - ⑪講師謝礼
- 旅行代金に含まれないもの
- ①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に購入(お土産、飲食等)したもの。
 - ②1人部屋追加料金(20,000円/3泊)
- お部屋割り
基本は2～3名様部屋になります。お一人部屋は追加料金(20,000円/3泊)が別途必要です。

四万十・足摺岬を堪能

ビキニデーin高知参加ツアー

4日間

旅のポイント

- ◆四万十の食と豊かな自然を満喫♪
- ◆土佐清水市を中心にビキニ事件の被害実態に迫ります
- ◆四国最南端、足摺岬でクルージング♪
- ◆ビキニデーin高知2023に参加します
アーサー・ビナードさんの講演もお楽しみに！

旅行期間 2023年 5月4日(木)～5月7日(日)

申込締切 2023年 4月14日(金)

実施人数 20名(最少催行人数 10名)

旅行代金 ￥145,000円(羽田発)

※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方は
お問合せ下さい。

添乗員 羽田空港より同行

企画・実施

FITS 株式会社 富士国際旅行社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4
TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201

日程表 ビキニデーin高知参加 柏島から足摺岬をめぐる旅 4日間			
日次	都 市	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）	
① 5/4 (木)	東京・羽田空港発 高知空港着 四万十市着	午前：空路✈️高知空港へ（午前7時頃集合） 専用車で四万十市へ ＊道の駅「よって西土佐」でお買い物 ＊四万十楽舎見学 ＊佐田沈下橋見学 ★夕食交流会	愛南町泊 朝X 昼X 夕○
② 5/5 (金)	ホテル発 四万十市 土佐清水市 ホテル着	＊幸徳秋水の墓見学 ＊トンボ自然公園見学 午後：土佐清水市立中央公民館にてビキニ被災者より聞き取り調査 サンセットクルーズ（足摺岬） ★夕食交流会	土佐清水市泊 朝○ 昼○ 夕○
③ 5/6 (土)	ホテル発 四万十市 高知市内 ホテル着	漁村文化散策－松尾集落、メジカ加工、ジョン万次郎など 土佐清水発、中村下田へ ホテルいやしの里にて幡多ゼミOB・顧問と対談 中村発、高知市内へ 高知市内着 劇団「The創」による「ビキニの海からの告発」を観劇	高知市内泊 朝○ 昼○ 夕X
④ 5/7 (日)	ホテル発 高知空港着 高知空港発 東京・羽田空港着	<2023ビキニデーin高知参加> 第1部（10：00～12：00） -報告 笹島康仁氏（ジャーナリスト） -講演 竹峰誠一郎氏（明星大学教授） 第2部（13：00～15：30） -講演 アーサー・ビナード氏（詩人） 「果てない『原子力時代』のナレノハテのぼくら」 -討論 アーサー・ビナード氏&青年 「核のこれからを語ろう」 -ビキニ裁判報告 空路✈️東京・羽田空港へ（羽田空港到着19時半～20時頃）	朝○ 昼○ 夕X

航空 利用 会 社 定	●日本航空（JAL） ●全日空（ANA）	ホ 宿 テ 予 定	四万十市：ホテルクラウンヒルズ中村 土佐清水市：ホテル足摺園 高知市：ドーマーイン高知	バ 利 用 予 定 社	高知西南交通
-------------------------	-------------------------	-----------------------	---	----------------------------	--------

平均気温（℃）	
5月	最高気温/最低気温
高知	23℃ / 14℃



ビキニ事件と高知

ビキニ水爆実験では「第五福竜丸」以外に多くの被災船が存在したことはあまり知られていません。しかし、水産庁では延べ992隻（実数550隻）の被災船を把握していました。被災船の約3分の1は高知船籍でした。

一方、翌年の1955年、日米両政府は、見舞金200万ドルで政治決着させます。以降、マグロの検査は中止され、第五福竜丸以外の船員の被災記録は公開されず、健康状況が追跡調査されることはありませんでした。

しかし1985年、当時高校教諭と高知の高校生らでつくる「幡多高校生ゼミナール」が、400人に上る元船員や遺族などから聞き取りを続け、被災船の多くの乗組員が脳腫瘍や白血病、がん等で亡くなっている事実を明らかにしました。さらにそれを裏付ける被災記録を市民団体「太平洋核被災支援センター」が米国国務省から入手。2014年に、船員の放射能汚染や漁船の航路記録が確認できたのです。

こうした取り組みを受けて2016年、高知県の被災船員らは国に対し賠償責任を求めて提訴します。2019年の高松高裁判決は「国が意図的に隠し続けてきた証拠はない」などとして訴えを退けました。しかし、判決は「漁船員が操業中に被爆したこと」「原告の要求はヒロシマ・ナガサキのヒバクシャと共通する」などと、第五福竜丸以外の船員の被爆を認め、さらに救済の道を示唆した歴史的な内容でした。一方、船員保険法の適用を求めて提出した労災が「不承認」にされるなど、闘いはまだ続きます。

（参考：『ビキニの海は忘れない』、ビキニ被災支援ニュース）

旅のポイント・見学地

❶ 四万十川・沈下橋

津野町不入山に端を発し、中土佐町、四万十町、四万十市を流れる四国最長の大河（全長196km）。『最後の清流』として知られ、火振り漁や柴づけ漁など現在でも伝統的な漁が行われています。沈下橋とは、大水の時に水面下に沈む欄干のない橋で、四万十川流域には合計47の沈下橋があります。高度成長期、流域の交通手段が筏舟母・高瀬舟から車・トラックへと移行したことで、昭和30年代以降に架設されました。今では四万十のシンボルとなっています。



❷ 廃校を利用した四万十楽舎

廃校を改装した環境文化センター。四万十川沿いに位置し、周りに建物はありません。開放感いっぱいの四万十の自然を満喫することができます。



❸ 幡多高校生ゼミナール

幡多高校生ゼミナール（幡多ゼミ）は、1983年8月3日に、学校を超え、地域の人権問題と現代史を結びつけた調査をすすめる自主的な高校生のサークルとして設立。ビキニ事件の被災船調査や韓国・朝鮮人問題などに取り組み、2011年からは東日本大震災の被災地・福島県の高校生との交流を実施するなど幅広い活動を行っています。ツアー中、幡多ゼミOBや顧問との対談の時間を設けています。

❹ 足摺岬クルーズ

足摺岬は四国最南端の岬で、岬の西の白渚は、黒潮本流が直接ぶつかる全国でも唯一の場所です。灯台の真下には四国霊場第38番札所金剛福寺まで通じていると言われる巨大な海食洞があります。従来の展望台からではなく、海上から眺めることで新しい絶景に出会えます。



❶ 自由民権運動～幸徳秋水ゆかりの地～

明治4年に四万十市に生まれた幸徳秋水は、少年時代から自由民権運動に関心を持ち、15歳のときに「自由新聞」の読者になりました。その後中江兆民の書生となりその影響を強く受けました。日本が日清・日露戦争を通じ「大国」への道を進む過程で貧困や労働問題などの社会問題が起きる中、「自由」「平等」「博愛」を訴え続けました。



❷ 土佐が生んだ国際人、ジョン万次郎

1827年、土佐清水市中浜の貧しい漁師の家に生まれた万次郎は、14歳の時に漁中に嵐に遭い遭難。過酷な無人島生活を送っていたところをアメリカの捕鯨船に救助されます。その後、アメリカに渡り、英語、航海術等を習得した万次郎は、命の危険を冒して鎖国中の日本に帰国。万次郎がアメリカから持ち帰った情報・知識・技術は坂本龍馬をはじめ多くの者に影響を与えました。万次郎のふるさと、土佐清水市にはジョン万次郎資料館、生家（復元）、銅像などがあります。